



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日

上場会社名 フジッコ株式会社

上場取引所 東

コード番号 2908

URL <http://www.fujiicco.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 福井 正一

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営管理本部長

(氏名) 奥平 武則

TEL 078-303-5921

四半期報告書提出予定日 平成26年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	43,196	4.0	3,413	△1.7	3,639	△1.6	2,000	△8.2
25年3月期第3四半期	41,520	0.2	3,471	4.3	3,697	4.6	2,178	10.7

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 2,009百万円 (△13.8%) 25年3月期第3四半期 2,331百万円 (24.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	62.48	—
25年3月期第3四半期	68.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	68,460	55,416	80.9
25年3月期	69,559	54,402	78.2

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 55,416百万円 25年3月期 54,402百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
26年3月期	—	16.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	55,500	3.0	3,900	6.8	4,200	5.9	2,500	8.5	78.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	34,991,521 株	25年3月期	34,991,521 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	2,974,306 株	25年3月期	2,971,338 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	32,018,632 株	25年3月期3Q	32,022,646 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
3. 補足情報	9
(1) 販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府が推進する経済政策を背景に緩やかな回復の動きが見られました。

食品業界におきましては、円安、世界的原料高、エネルギー高により、厳しい状況が続きました。明るい話題としては、和食のユネスコ無形文化遺産への登録が12月に決定し、日本の良き食文化の再発見・普及に期待が寄せられました。

このような環境の中、当グループにおきましては、中期経営計画に基づき、プレミアムヨーグルト市場とチルド包装惣菜市場でのシェアNO. 1を目指し、「カスピ海ヨーグルト」と包装惣菜の拡大に向けた取り組みを進めました。年間を通じて一番の繁忙期となる12月においては、クリスマスやおせち商戦での拡販に加え、定番商品のベースアップ効果もあり、単月で過去最高の売上高を更新しました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、豆製品の低迷が続いているものの、そう菜製品、ヨーグルト製品、デザート製品、その他製品が伸長しましたことから、431億96百万円（前年同四半期比4.0%増）となりました。

利益については、営業利益は34億13百万円（前年同四半期比1.7%減）、経常利益は36億39百万円（前年同四半期比1.6%減）となりました。四半期純利益は、特別損失として役員退職慰労金等の計上があり、20億円（前年同四半期比8.2%減）となりました。

製品分類別の販売状況は、次のとおりであります。

昆布製品は、主力の「ふじっ子煮」が一部商品への「新・香味炊き製法」の採用や4月から5月にかけてのTVCMにより売上高を伸ばし、その後も安定して推移しましたが、とろろ昆布、塩こんぶ、昆布巻の減収をカバーできず、前年同四半期並みとなりました。

そう菜製品は、包装惣菜、日配惣菜ともに引続き伸長し、前年同四半期を大きく上回りました。包装惣菜は、「小あじの南蛮漬け」「秋の根菜彩り煮（期間限定）」、単身・少人数世帯向けの「きんぴらごぼうミニ」「ひじき煮ミニ」等の投入でラインアップを強化し、売場のコーナー（おかずステーション）化を進めました。また、お客様の食生活の変化に対応して、洋風惣菜「ベスタデリ」シリーズの開発を進め、首都圏での販売拡大と近畿圏でのテスト販売に取り組みました。日配惣菜は、取り扱いアイテムの増加により、販売が拡大しました。

豆製品は、売場のコーナー（おまめ厨房）化や様々なメニューへの使い方訴求で水煮が伸長したものの、甘さ離れにより煮豆が苦戦しましたことから、前年同四半期を下回りました。

ヨーグルト製品は、量販店チャンネル、通信販売チャンネルともに伸長し、前年同四半期を大きく上回りました。量販店チャンネルでは、「カスピ海ヨーグルトプレーン400g」が、カスピ海ヨーグルトフォーラム、新聞広告、広島・近畿エリアでのTVCMやTVパブリシティを通じて、店頭での取り扱いと商品価値の認知が進み、売上高を拡大しました。通信販売チャンネルでは、「善玉菌のチカラ」サプリメントが好調に推移したほか、「カスピ海ヨーグルト手づくり用種菌」が11月に累計販売400万セットを突破しました。

デザート製品は、プリン類は低調でしたが、「フルーツセラピー」が通年商品の取り扱い増加と期間限定商品の投入で好調に推移しましたことから、前年同四半期を上回りました。12月には、果汁を贅沢に使用したプレミアムシリーズの第1弾「フルーツセラピー プレミアム リッチベリー」を期間限定で新発売しました。

その他製品は、「朝のたべるスープ」「クロクロ（黒酢黒大豆）」等が伸長し、前年同四半期を上回りました。「朝のたべるスープ」は、11月に静岡エリアでテストマーケティングを実施し、同エリアでの販売が大きく伸長して今後の成長に期待が持てる形となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ10億98百万円減少し、684億60百万円となりました。これは北海道工場と鳴尾新工場棟の生産設備に係る支払等により、現金及び預金が減少したことによるものです。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて8億77百万円減少し、113億13百万円となりました。これは主に北海道工場と鳴尾新工場棟の生産設備に係る未払金の減少によるものです。固定負債は、前連結会計年度末と比べて12億34百万円減少し、17億30百万円となりました。これは長期借入金の返済や役員退職慰労引当金の取崩し等によるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ10億13百万円増加し、554億16百万円となりました。

これらの結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の78.2%から80.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当グループを取り巻く事業環境は、依然として厳しい状況が続いておりますが、当期の連結業績は概ね当初（平成25年3月期決算発表時）の予想どおり推移すると見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,369	10,572
受取手形及び売掛金	8,771	12,181
商品及び製品	683	995
仕掛品	458	384
原材料及び貯蔵品	5,743	5,724
繰延税金資産	405	395
その他	238	388
貸倒引当金	△1	△2
流動資産合計	31,668	30,639
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	31,931	31,742
減価償却累計額	△20,044	△20,458
建物及び構築物(純額)	11,887	11,283
機械装置及び運搬具	20,685	22,240
減価償却累計額	△16,960	△16,735
機械装置及び運搬具(純額)	3,724	5,504
工具、器具及び備品	1,815	1,765
減価償却累計額	△1,486	△1,448
工具、器具及び備品(純額)	329	317
土地	13,504	13,369
建設仮勘定	1,675	484
有形固定資産合計	31,121	30,958
無形固定資産		
ソフトウェア	372	258
その他	134	158
無形固定資産合計	506	416
投資その他の資産		
投資有価証券	4,928	5,290
繰延税金資産	459	38
その他	923	1,166
貸倒引当金	△48	△48
投資その他の資産合計	6,262	6,446
固定資産合計	37,890	37,821
資産合計	69,559	68,460

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,814	5,056
短期借入金	732	1,482
未払金	5,768	3,763
未払法人税等	909	19
未払消費税等	27	238
賞与引当金	436	113
預り金	275	408
その他	227	230
流動負債合計	12,191	11,313
固定負債		
長期借入金	1,077	528
繰延税金負債	1	16
退職給付引当金	1,158	722
役員退職慰労引当金	727	262
長期末払金	—	200
固定負債合計	2,965	1,730
負債合計	15,156	13,044
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,566	6,566
資本剰余金	7,302	7,302
利益剰余金	43,028	44,036
自己株式	△3,203	△3,207
株主資本合計	53,693	54,698
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	708	718
その他の包括利益累計額合計	708	718
純資産合計	54,402	55,416
負債純資産合計	69,559	68,460

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	41,520	43,196
売上原価	25,056	26,237
売上総利益	16,463	16,959
販売費及び一般管理費	12,992	13,545
営業利益	3,471	3,413
営業外収益		
受取利息	6	3
受取配当金	110	121
受取賃貸料	58	58
その他	91	86
営業外収益合計	266	269
営業外費用		
支払利息	12	13
賃貸費用	21	16
その他	7	14
営業外費用合計	41	44
経常利益	3,697	3,639
特別利益		
固定資産処分益	8	0
投資有価証券売却益	—	360
新株予約権戻入益	61	—
その他	—	158
特別利益合計	70	519
特別損失		
固定資産処分損	8	27
投資有価証券評価損	170	0
役員退職慰労金	—	859
その他	14	170
特別損失合計	193	1,057
税金等調整前四半期純利益	3,574	3,101
法人税、住民税及び事業税	1,173	724
法人税等調整額	222	376
法人税等合計	1,396	1,101
少数株主損益調整前四半期純利益	2,178	2,000
四半期純利益	2,178	2,000

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,178	2,000
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	152	9
その他の包括利益合計	152	9
四半期包括利益	2,331	2,009
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,331	2,009
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 販売の状況

(単位：百万円)

製品分類	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年 4月 1日 至平成24年 12月 31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成25年 4月 1日 至平成25年 12月 31日)		増減額	(参考)前連結会計年度 (自平成24年 4月 1日 至平成25年 3月 31日)	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
昆布製品	12,885	31.0%	12,870	29.8%	△14	16,713	31.0%
そう菜製品	10,037	24.2%	11,120	25.8%	1,083	13,299	24.7%
豆製品	10,016	24.1%	9,708	22.5%	△308	12,894	23.9%
ヨーグルト製品	2,113	5.1%	2,777	6.4%	664	2,874	5.4%
デザート製品	2,448	5.9%	2,606	6.0%	157	3,075	5.7%
その他製品	4,019	9.7%	4,112	9.5%	93	5,017	9.3%
合計	41,520	100.0%	43,196	100.0%	1,676	53,874	100.0%

(注) 増減額は、当第3四半期連結累計期間と前第3四半期連結累計期間との比較で表示しております。

当第1四半期連結累計期間より製品分類を変更し、従来の「デザート製品」から「ヨーグルト製品」を独立させて表示しております。

前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度の実績は、変更後の区分に替えて表示しております。